

Title	SFC1年生における飲酒・喫煙等の実態について
Sub Title	
Author	池上, 直己(Ikegami, Naoki)
Publisher	慶應義塾大学湘南藤沢学会
Publication year	1994
Jtitle	リサーチメモ
JaLC DOI	
Abstract	本書は、1991、1992年度に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) の 1 年生で保健衛生の講義を受講する者を対象とし、飲酒・喫煙等の調査を実施した結果をまとめたものである。大学1年生の人口の中の飲酒・喫煙等の実態を把握することは、大学キャンパスにおける精神保健計画を策定する基礎資料として不可欠とされている。
Notes	心身ウェルネスセンター
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=0302-0000-0556

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

WNC-RM 94-001

ISBN 4-906483-37-2

SFC1 年生における飲酒・喫煙等の実態につ
いて

総合政策学部 池上直己

平成6年 12月 2日

現在、大学という場が、学生にとってアルコールやニコチンなどの依存性薬物と出会い、飲酒・喫煙を発展させる機械となっていることは周知の事実である。同時に、大学で学ぶ時期は青春後期から前成人期にあたり、種々の発達上の課題と取り組むときでもある。大学は種々の人間関係を通じて、対人関係の上で新しい体験を提供する場でもあるが、新たな葛藤を産みだし、精神衛生上の問題を多発する場となることも決して少なくはない。

青少年の精神保健問題の中で、飲酒・喫煙の占める割合は大きい。どちらも法律上は20才以上の成人でなければ使用が禁止されているにもかかわらず、その入手が至って容易なために日常的に使用もしくは乱用する者の数は多い。しかし、若年者への影響の実態については、いくつかの先行研究はあるものの不分明なままで放置される傾向にある。大学1年生人口の中の飲酒・喫煙等の実態を把握することは、大学キャンパスにおける精神保健計画を策定する際の基礎資料として不可欠なことである。

調査対象

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）の1年生で保健衛生の講義を受講する者を対象に、飲酒・喫煙等の調査を実施し、以下のとおりの結果を得た。なお、調査は1991,92年度に実施した。

対象とした学生（1年生）は今年度は全体で630名、男子347名（55.1%）女子282名（44.8%）性別記入なし1名（0.2%）である。年齢は、18才が280名（44.4%）19才が232名（36.8%）で、20才以上が118名（18.8%）含まれていた。平均年齢は18.8才（標準偏差0.8才）。

昨年度は733名（男子476名、女子256名、不明1名）、18才345名、19才282名、その他106名であった。

調査方法

調査は協力者に調査用紙を配布し、一斉に記入してもらった後に回収、種々の統計的解析を加えた。調査項目には精神活性物質（アルコール、ニコチン、カフェイン、鎮痛剤、睡眠薬、精神安定剤等）の使用状況、KAST（久里浜式アルコール症スクリーニング・テスト）、PBI（両親の養育態度）等の各項目が含まれている。本報告では飲酒・喫煙等についての調査結果のみを取り上げる。

調査結果

飲酒行動についての調査結果は、飲酒頻度、最近1週間飲酒回数、アルコール飲料の種類、最近1週間の飲酒量、問題飲酒者に対してを、表1から表5（昨年度の分は表8から表12）に示した。

1. 飲酒頻度では連日飲酒者は男子の1.4%のみに見られた（昨年は男子1.3%、女子0.4%）。非飲酒者が少なく2.7%のみ（昨年度7.7%）。断酒者が5.4%、1年に数回飲む人を「現在飲酒者」、週4回以上飲む人を「週間飲酒者」とすると、調査対象の91.7%が現在飲酒者、3.0%が習慣飲酒者である。（表1）
2. 総じて飲酒量は増加の傾向にある。最近1週間飲酒量でみると、大量飲酒者（630ml以上）は5.8%（男子9.3%、女子1.4%）。中等飲酒者（210ml以上）が13.5%（男子17.2%、女子8.3%）いる。（表4）
3. 同じくアルコール飲料の種類をみると、ビールを好む者が最も多いが、焼酎、ウイスキー、カクテル、ワインと幅広く飲まれている。（表3）
4. 問題飲酒者の認定にはKASTを用いた。KASTはアルコール症のスクリーニング・テストとして開発され、個人の飲酒行動の特徴を正常から異常まで連続的に評価できるように考案されている。これが2.0以上の者を「アルコール依存者であることが強く疑われる問題飲酒者」とすると、今回の調査では、問題飲酒者は表5に示したとおり26名（4.1%）、男子19名（5.5%）、女子7名（2.5%）であった。
この結果は昨年に比べ若干減少した（昨年は問題飲酒者40名;5.5%;男子32名;6.7%;女子8名;3.1%;だった）ものの、他の調査結果と比較するとやや多い数字となっている。（表5・12）
5. 喫煙行動については、喫煙頻度を集計したものを表6・13に示した。非喫煙者の割合は昨年と変わらない（男子76.7%女子95.0%）ものの、毎日30本以上すう大量喫煙者が男子に2.3%と昨年（0.6%）の約4倍弱と増加したのが目立っている。
6. 薬物の種類別使用頻度は表7・14に示した。睡眠薬使用者がゼロ（昨年は男子が2名いた）で、連日使用者がどの薬物もゼロ（昨年は安定剤連日使用者が男子に1名いた）であった。鎮痛剤使用者がやや

減り（昨年男子 4.6 %、女子 20.4 %）、全体では、男子は横這い（0.8 %減）で、女子は減少（5.0 %減少）した。

考察

飲酒行動

今回の大学新入学生調査を考察するため、斎藤による M 大学初年生の飲酒行動等調査結果のうち今回調査と対比できる部分を列挙してみると次のとおりである。

1. 現在飲酒者（年 5～6 回以上飲む）は母集団の 89.2 % に達し、男女の性差はみられなかった。
2. 習慣飲酒者（週 4 回以上飲む）は男子学生の 8.9 % であり、女子にはみられなかった。週 1 回以上飲む者（前回の調査ではこれを習慣飲酒者とし、週 4 回以上を常習飲酒者とした）は、男子が 41.0 %、女子は 5.4 % であった。
3. 大量飲酒者（週間飲酒量が純アルコールで 630ml、約 21 合、1 日平均 3 合）は男子学生約 3 % のみで、現在飲酒物中の 1.8630ml は 20.0 %（45.3 %）で現在飲酒者中の 12.7 % の割合となる。

同じく、昨年の新入生のデータを列挙すると次のようになる。

1. 現在飲酒者は全体の 92.2 % だった。男子が 93.8 %、女子が 89.0 %。
2. 週間飲酒者は 3.6 %。男子が 5.3 %、女子が 0.4 % であった。（週 1 回以上飲む者は、23.0 % <男子が 30.7 %、女子が 13.8 % > だった。）
3. KAST 高得点ものは 40 名（5.5 %）で、男子が 32 名（6.7 %）、女子が 8 名（3.1 %）であった。
4. 問題飲酒者（KAST が 2 点以上の者）のうち 1 名は断酒中で、現在飲酒者が 39 名（97.5 %）、連日飲酒者は 3 名（7.5 %）であった。
5. 大量飲酒者は男女ともなく、中等量飲酒者は 2.7 % だった。大半の者が飲酒量 30ml 未満の微量飲酒者だった。

以上の両調査と今回の調査結果とを比較すると、

1. 現在飲酒者はほぼ同じ割合（全体で男子 93.1 %、女子 90.4 %）だが、

2. 習慣飲酒者はやや少なく(全体で3.0%、男子4.9%、女子0.7%)、週1回以上飲む者は(男子30.7%女子13.8%)いずれも先行調査と比較して男子が少なく、女子がやや多い傾向にある。
3. 問題飲酒者が26名(うち女性7名)で母集団の4.1%を占める。男子は5.5%女子が2.5%である。現在飲酒者に占める割合もそれぞれ4.5%5.9%3.1%となり、問題飲酒者の割合は昨年よりは下まわるものの、余暇開発センターで実施した一般人口調査結果(問題飲酒者2.5%男性5.0%女性0.3%)に比べればやや多いといえる。
4. 大量飲酒者は5.8%、男子9.3%女子1.4%。中等量飲酒者が13.5%男子17.2%女子8.3%。微量飲酒者は53.6%、男子46.5%、女子62.5%、大量飲酒者・中等量飲酒者が前回調査の数値を大幅に上回ったことから、総じて飲酒量は増加の傾向を示している。また、よりアルコール度の高い、強い酒を好む傾向がある。

喫煙行動

喫煙に関しては、斎藤の調査では

1. 男子の50.0%、女子の13.5%が喫煙していた。
2. 男子の33.9%、女子の8.1%が毎日喫煙している。
3. 一日20本以上のヘビースモーカーは、男子に10.7%存在したが、女子にはみられなかった。

前回調査では、

1. 男子の21.9%、女子の3.5%が喫煙していた。
2. 毎日喫煙者は男子16.9%女子1.6%。
3. 一日20本以上のヘビースモーカーは、男子に6.3%、女子に0.4%存在した。

今回調査では、

1. 男子の23.3%、女子の5.0%が喫煙していた。
2. 毎日喫煙者は男子17.5%女子2.2%。
3. 一日20本以上のヘビースモーカーは、男子に7.3%、女子に0.7%存在した。

いずれも昨年に比較して少しずつ増えた。

その他

薬物に関しては斎藤の調査には含まれていなかったため、91・92年度の比較となるが、

1. 昨年は精神安定剤の毎日常用者が男子の0.2%にいたが、今回はゼロだった。
2. 薬物常用者は11.0%から9.9%にわずかだが減った。

結論

現在飲酒者、喫煙者数が前年と変わらないが、大量飲酒者とヘビースモーカーは増加傾向にあることから、また飲酒機会の少ない者の増加から、「飲酒機会が少なくなった最近のSFCの1年生は、1回に飲む量が増加している」といえる。問題飲酒者はやや減ったものの、一般人口からみれば決して少ない数ではないので、かなり早い時期にアルコール関連問題を発生させる学生の増加が予想されるといえるのではないだろうか。予防的な意味合いからも、在学中にアルコール関連問題に関する正確な知識が得られ、必要なら相談も可能であるような機会を用意する必要がある。

表1 飲酒頻度(1992年度)

性別	全体			18	19	才人口
	男	女	計	男	女	計
(人数)	345	282	632	269	241	510
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
毎日	1.4	0.0	0.8	1.1	-	0.6
週4日以上	3.5	0.7	2.2	3.4	0.4	1.9
1~3回/週	25.8	13.1	20.1	25.6	16.6	19.8
月に数回	52.2	56.0	53.9	55.7	56.0	55.9
年に数回	10.1	20.2	14.7	7.1	19.9	13.1
断酒者	4.6	6.4	5.4	4.5	7.1	5.7
非断酒者	2.3	3.2	2.7	2.6	2.9	2.8
不明	0.0	2.7	0.2	-	0.4	0.2
計(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表2 最近1週間に飲んだ日数(1992年度全体のみ)

	男	女	計
人数	346	280	626
最近1週間は飲んでいない	45.4	57.5	50.8
飲んだ回数は1回	28.9	30.0	29.4
2回	13.6	10.0	12.0
3回	4.6	1.4	3.2
4回	3.5	1.1	2.4
5回	2.0	-	1.1
6回	1.2	-	0.6
7回以上	0.9	-	0.5
計(%)	100.0	100.0	100.0

表3 アルコール飲量の種類 (1992年度全体のみ)

	男	女	計
人数	292	157	454
ビール	55.9	55.4	55.7
清酒	9.8	4.5	7.9
焼酎	5.4	14.0	8.4
ウイスキー	19.9	10.8	16.7
カクテル	4.0	12.1	6.8
ワイン	3.7	2.5	3.3
その他	1.3	0.6	1.1
計(%)	100.0	100.0	100.0

表4 最近1週間の飲酒量 (1992年度)

性別	全体			18	19	才
	男子	女子	計	男子	女子	計
計	344	277	621	268	236	504
30ml 未満	46.5	62.5	53.6	44.0	63.1	53.0
30 以上～60ml 未満	4.1	11.2	7.2	4.1	11.0	7.3
60 以上～90ml 未満	2.3	1.8	2.1	1.9	1.7	1.8
90 以上～210ml 未満	20.6	14.8	18.0	21.6	45.7	18.8
210 以上～420ml 未満	10.2	7.2	8.9	11.2	7.2	9.3
420 以上～630ml 未満	7.0	1.1	4.3	7.5	0.4	4.2
630ml	9.3	1.4	5.8	9.7	0.8	5.6
計(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表5 問題飲酒者(1992年度)

性別	全体			18	19	才
	男	女	計	男	女	計
(人数)	347	282	629	271	241	512
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
KAST2点以上	5.5	2.5	4.1	4.8	2.5	3.7
2点未満	14.1	5.7	10.3	15.1	5.8	10.7
0点以下	80.4	91.8	85.6	80.1	91.7	85.6

表6 喫煙頻度(1992年度)

性別	全体			18	19	才
	男	女	計	男	女	計
(人数)	343	282	625	268	241	509
まったく吸わない	76.7	95.0	85.0	79.1	95.5	86.8
ときどき(1~9本)	2.9	1.4	2.2	3.7	0.8	2.4
ときどき(10本~)	-	-	-	-	-	-
ときどき(20本~)	-	0.4	0.2	-	-	-
週数回(1~9本)	2.3	1.0	1.8	2.3	0.8	1.6
週数回(10本~)	0.6	-	0.3	0.4	-	0.2
毎日(1~9本)	2.9	1.1	2.1	2.6	2.1	2.4
毎日(10~19本)	7.3	0.4	4.1	5.6	0.4	3.1
毎日(20~29本)	5.0	0.7	3.0	4.1	0.4	2.4
毎日(30本以上)	2.3	-	1.3	2.3	-	1.2
計(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表7 常用薬物:種類と頻度 (1992年度)

性別	全体			18	19	才
	男	女	計	男	女	計
(人数)	340	276	616	265	235	500
なし	95.6	81.9	89.5	95.5	83.4	89.8
鎮痛剤	(3.8)	(16.3)	(9.4)	(4.3)	(15.7)	(9.6)
毎日	-	-	-	-	-	-
週に数回	0.6	0.3	0.5	0.8	0.4	0.6
月に数回	0.6	8.0	5.0	2.7	8.1	5.2
年に数回	2.6	8.0	5.0	2.7	8.1	5.2
睡眠剤	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
精神安定剤	(0.6)	(0.3)	(0.5)	(0.4)	(0.4)	(0.4)
毎日	-	-	-	-	-	-
週数回	-	-	-	-	-	-
月数回	-	-	-	-	-	-
年数回	0.6	0.3	0.5	0.4	0.4	0.4
不明	(-)	(1.5)	(0.6)	-	0.4	0.2
計 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注) カッコ内の数字は薬剤種類別に小計したもの。

表 8 飲酒頻度 (1991 年度)

性別	男	女	計
(人数)	471	256	727
	(%)	(%)	(%)
毎日	1.3	0.4	1.0
週 4 日以上	4.0	-	2.6
1~3 回/週	26.1	10.5	20.6
月に数回	54.8	57.4	55.7
年に数回	7.6	20.7	12.3
断酒者	1.3	0.8	1.1
非飲酒者	5.9	10.9	7.7
計 (%)	100.0	100.0	100.0

表 9 最近 1 週間に飲んだ日数 (1991 年)

	男	女	計
人数	475	255	730
最近一週間は飲んでいない	27.2	47.5	34.2
飲んだ回数は 1 回	38.7	31.4	36.2
2 回	20.6	14.9	18.6
3 回	6.9	3.5	5.8
4 回	3.2	2.4	2.9
5 回	1.7	-	1.1
6 回	0.8	-	0.5
7 回以上	0.8	0.4	0.7
計 (%)	100.0	100.0	100.0

表 10 アルコール飲料の種類 (1991 年度)

	男	女	計
人数	348	136	484
ビール	73.9	73.5	73.8
清酒	15.5	5.9	12.9
焼酎	3.5	4.4	3.7
ウイスキー	3.2	3.7	3.3
カクテル	1.7	4.4	2.4
ワイン	0.6	5.2	1.9
その他	0.6	-	0.4
不明	1.2	2.9	1.6
計 (%)	100.0	100.0	100.0

表 11 最近 1 週間の飲酒量 (1991 年度)

	男	女	計
計	309	149	458
30ml 未満	41.1	80.5	53.9
30 以上～60ml 未満	36.6	12.8	28.8
60 以上～90ml 未満	10.0	3.4	7.9
90 以上～210ml 未満	9.1	-	6.1
210 以上～420ml 未満	1.0	0.7	0.9
420 以上～630ml 未満	1.0	-	0.7
630ml	-	-	-
不明	1.3	2.7	1.7
計 (%)	100.0	100.0	100.0

表 12 問題飲酒者 (1991 年度)

性別	男	女	計
(人数)	475	257	731
	(%)	(%)	(%)
KAST2 点以上	6.7	3.1	5.5
0 点未満	10.7	10.6	10.7
0 点以下	82.3	86.3	83.8

表 13 喫煙頻度 (1991 年度)

性別	男	女	計
(人数)	475	256	731
まったく吸わない	78.1	96.5	84.6
ときどき (1~9 本)	2.1	1.2	1.8
ときどき (10 本)	0.4	-	0.3
週数回 (1~9 本)	1.7	0.8	1.4
週数回 (10 本)	0.4	-	0.3
毎日 (1~9 本)	3.6	0.4	2.5
毎日 (10~19 本)	7.0	0.8	4.8
毎日 (20~29 本)	5.7	0.4	3.1
毎日 (30 本以上)	0.6	-	0.5
不明	1.1	-	0.7
計 (%)	100.0	100.0	100.0

表 14 常用薬物の種類と頻度 (1991 年度)

性別	男	女	計
(人数)	474	255	729
なし	94.5	76.5	88.2
鎮痛剤	(4.6)	(20.4)	(10.1)
週に数回	0.2	0.4	0.3
月に数回	2.2	12.6	5.7
年に数回	2.3	7.5	4.1
睡眠剤	(0.4)	(-)	(0.3)
週数回	0.2	-	0.2
年数回	0.2	-	0.1
精神安定剤	(0.2)	(1.2)	(0.6)
毎日	0.2	-	0.2
週数回	-	0.4	0.1
月数回	-	0.4	0.2
年数回	-	0.4	0.1
不明	0.2	2.0	0.8
計 (%)	100.0	100.0	100.0

注) カッコ内の数字は薬剤種類別に小計したものの。

慶應義塾大学 湘南藤沢学会

Keio University Shonan Fujisawa Gakkai